

# 派遣留学生帰国報告書

\* 帰国(復学)後の情報を入力してください

記入日	2020/11/25
所属学部・ 研究科・学府	工学部/ 融合理工学府
所属学科・専攻	デザイン学科/創成工学専攻 デザインコース

## 1. 留学先について

留学先大学名	IADE大学							
留学先所属学部等								
留学期間	出発日	2019/9/5	入学日	2019/9/16	修了日	2020/1/24	帰国日	2020/3/21
住居	<input type="radio"/> 大学(紹介)の寮・アパート	<input type="checkbox"/> 民間アパート	<input type="checkbox"/> その他( )					
	通学時間	15分					<input type="checkbox"/> On campus	
	通学方法	徒歩						
	居室スペース	<input type="radio"/> 個室	( ) 人部屋		<input type="checkbox"/> その他( )			
	共有スペース	<input type="checkbox"/> 完全個室	<input type="checkbox"/> キッチン	<input type="checkbox"/> トイレ	<input type="checkbox"/> バス	<input type="checkbox"/> リビング	<input type="checkbox"/> その他( )	
食事	自炊	80 %	学食	%	外食	20 %	その他	( ) %
保険	海外旅行保険(名称)	tabiho						
	派遣先大学指定の保険(名称)						<input type="checkbox"/> 強制加入	
	その他							
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車)							
	成田 ⇄		モスクワ			⇄ リスボン		

## 2. 留学にかかった費用について

総費用	170万 円							
出どころ								
自費	<input type="radio"/> 貯金	円	<input type="checkbox"/> アルバイト	円	<input type="checkbox"/> その他	円		
援助	<input type="radio"/> 両親	50万 円	<input type="checkbox"/> 家族・親戚	円	<input type="checkbox"/> その他	円		
奨学金	<input type="radio"/> JASSO	月額8万 円	<input type="checkbox"/> その他名称( JASSO第二奨学金)	月額12万 円				
その他	<input type="checkbox"/> その他( )							円

## 2-1. 財政管理の方法

渡航時	<input type="radio"/>	現金	5万 円	<input type="radio"/>	その他( クレジットカード3枚 )	円
留学中		海外送金	<input type="radio"/>	キャッシング	その他( )	

## 2-2. 各費用の支払い方法

大学に払った費用	全額、クレジットカード
住居にかかった費用	全額、クレジットカード
その他	

## 2-3. 内訳

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)			15万	円
海外旅行保険			13万	円
OSSMA			29,700	円
査証・在留許可証			0	円
住居			22万	円
食費			12万	円
通学に要する交通費			0	円
教科書、教材費			1万	円
その他大学に支払った経費			0	円
光熱費			0	円
その他 ( )				円
その他 ( )				円
その他 ( )				円
その他 ( )				円

## 3. 学業面

履修科目名	種類 <sup>ex.正規、聴講</sup>	単位数	単位互換認定申請の有無		
			有	○	無
1 Visual Design	正規	12ECTS	有	○	無
2 Fashion and Photography	正規	6ECTS	有	○	無
3			有		無
4			有		無
5			有		無
6			有		無
7			有		無
8			有		無
9			有		無
10			有		無

## 3-1. 授業科目の選択、登録方法

大学のウェブサイトにて登録。登録期間は2週間

## 3-2. 授業内容、方法に関して

1つの授業が週に2コマ以上あることがおおく、履修の組み合わせが難しかったです。私がとった授業は3～5個の課題が順番に与えられるため、一つの授業を取るだけでも多くのことを学ぶことができました。グループワークはほとんどなく、個人で進めながらお互いの課題を評価し合う形式で進められていきました。

## 3-3. 語学力について

TOEICの点数を提出。英語開講の授業が多いため、ポルトガル語は必須ではない。

## 3-4. 図書館など学内施設について

図書館あり。狭いが自習室として最適。学食はなく、小さなカフェが用意されている。

## 3-5. その他

--

## 4. 生活面

### 4-1. 住居について

家賃の安さを重視した住居のため、少し古いアパート。コンロは手動点火式ガスコンロ。暖房はもちろんヒーターもなかったため、慣れるのに時間がかかったが、積極的に外に出るきっかけとなった。(暖房やヒーターの設備がない家やホテルが多い印象を受けた。)布団が薄かったため、布団を追加で購入した。

### 4-2. 食生活について

スーパーが至るところにあるので、自炊をするのに困ることはありませんでした。お米も売っているので自分で炊いていました。日本と比べ、肉の質があまりよくないと感じました。豚バラのような薄切り肉を見かけたことがなかったので、日本独自の売り方なのかもしれません。物価や食材は基本日本と変わらず、問題なく自炊できました。

### 4-3. インターネット環境、携帯電話について

空港のお店でSIMカードを契約した。クレジット払い。

### 4-4. 服装について

9月中は30度にも上る暑さだったため夏服が重宝した。それ以降の気候はほぼ日本と変わらないためかなり過ごしやすかった。よるがかなり冷え込むため、厚手の靴下や部屋着が必要。

### 4-5. 健康管理について

食事や睡眠には気をつけていたが、部屋の中が寒く熱を出した。家で安静に過ごし、少し回復した際は薬局で喉スプレーを購入。

### 4-6. 保険、OSSMAの利用について

ポルトガルのビザ申請には、歯科保険が必要なため、追加料金を払い加入した。保険もOSSMAも利用しなかった。

### 4-7. 課外活動について

専門家によるデザインのスピーチが行われるカンファレンスの運営のスタッフとして手伝いを行った。

### 4-8. 学外のコミュニティとの交流について

友人の紹介で交流することはあったが、コミュニティ単位で交流することはなかった。

### 4-9. 日本から持参してよかったもの

変換プラグ、延長コード、安全ロックチェーン、カイロ、頭痛薬、風邪薬

## 4-10. 日本から持参したが不要だったもの

日本食品を少し持っていったが、なくても現地で調達できた。

## 4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

積極的に話しかけるのがマナー。見知らぬ人であっても話しかけることは普通のことである。

## 4-12. 余暇の過ごし方

【イタリア・ベネチア・ビエンナーレ観光】2019年11月(5日間)、約6万円/  
【イギリス・ロンドン】2020年12月(14日間)、約10万円

その他 \* 気分転換やストレス発散法など。

現地の友達と小旅行

## 5. その他

## 5-1. 留学先大学について

IADE大学は小さなデザイン大学です。先生がとても親身になってくださり、楽しく穏やかな雰囲気な授業も多かったです。(別の授業を履修していた友人によると、かなり厳しい先生も稀にいらっしゃるみたいです。)留学生が多い大学ですが、ヨーロッパの学生がとても多く、日本人は私だけ、アジア人も少なく、日本人留学生にとっても興味を持ってもらえました。

## 5-2. 留学希望者へのアドバイス

履修登録で私はかなり苦労しました。人数制限や突然の変更、授業の被りで、あまり多くの授業を取ることができませんでした。しかし、そのことに後悔はしていません。私の大学は小さいビルのような大学なので、授業以外の時間は積極的に外に出てその土地の文化を肌で感じ、その体験を授業の課題やデザイン提案につなげることもできました。留学先では自分の思うようにいかないことがたくさんあると思いますが、気を張りすぎず、その瞬間、その国でしかできないことを見つけて目一杯楽しむことが大切なのではないかと感じました。

## 5-3. 留学を終えて

留学前に教授から、「travel is trouble」だよ。そのトラブルを楽しんできなさい、とアドバイスをいただきました。実際に留学を終えてみると、留学は長いtravelだったと感じました。半年その国に住んでいると、かなり慣れて旅行という認識はすぐになくなりはしますが、履修方法、住居や移動、食事など様々なところでトラブルが発生します。きっと日本にいたらトラブルだと感じないくらいの小さなトラブルです。でも留学先でのトラブルは自分の中では一つ一つが大イベントで、ドタバタすることも多かったです。しかしそのトラブルこそが留学の醍醐味だと感じました。授業の課題をこなす以外に、その国の文化に右往左往しながら順応していく生活が自分を成長させてくれたと思います。また、留学先の国の魅力も実感すると同時に、日本の魅力がより自分の中で輝き愛国心も強くなったと感じます。一つ心残りがあるとすれば、留学前に日本で旅しなかったこと、日本の文化をしっかりと学ばなかったことです。海外の方は自分が思っていたよりも日本に興味を持ってきていると言うことです。より深い会話をして話を盛り上げるために、TOKYO, OSAKA以外に自分の体験と共に話ることができる、日本の文化や地域を増やしておくべきだったと、何度も留学先での会話の中で感じました。